

表2 調査対象地域で記録された鳥類(越冬期)

No.	目	科	種	重要種の選定基準		
				①	②	③
1	カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ			
2			カンムリカイツブリ			
3	ペリカン目	ウ科	カワウ			
4	コウノトリ目	サギ科	ダイサギ			
5			コサギ			
6			アオサギ			
7	カモ目	カモ科	マガモ			
8			カルガモ			
9			コガモ			
10			ヨシガモ			
11			オカヨシガモ			
12			ヒドリガモ			
13			ホシハジロ			
14			キンクロハジロ			
15			カワアイサ			
16	タカ目	タカ科	ミサゴ		NT	NT
17			トビ			
18			チュウヒ		EN	VU
19		ハヤブサ科	ハヤブサ	○	VU	VU
20	キジ目	キジ科	キジ			
21	ツル目	クイナ科	オオバン			
22	チドリ目	チドリ科	ケリ			
23			シギ科	クサシギ		
24			イソシギ			
25		カモメ科	ユリカモメ			
26			セグロカモメ			
27			オオセグロカモメ			
28			カモメ			
29			ウミネコ			
30		ハト目	ハト科	キジバト		
31	ブッポウソウ目	カワセミ科	カワセミ			
32	スズメ目	ヒバリ科	ヒバリ			
33		セキレイ科	キセキレイ			
34			ハクセキレイ			
35			セグロセキレイ			
36			タヒバリ			
37		ヒヨドリ科	ヒヨドリ			
38		モズ科	モズ			
39		ツグミ科	ジョウビタキ			
40			ツグミ			
41		ウグイス科	ウグイス			
42			セッカ			
43		メジロ科	メジロ			
44		ホオジロ科	ホオジロ			
45			ホオアカ			
46			カシラダカ			
47			アオジ			
48			オオジュリン			
49		アトリ科	カワラヒワ			
50			ベニマシコ			
51			イカル			
52	シメ					
53	ハタオリドリ科	スズメ				
54	ムクドリ科	ムクドリ				
55	カラス科	ハシボソガラス				
56		ハシブトガラス				
-	カモ目	カモ科	アヒル			
-	ハト目	ハト科	カワラバト(ドバト)			

※ 種名・配列は、「日本鳥類目録 改定第6版(日本鳥学会、2000年)」に準拠した。

※ カワラバト(ドバト)およびアヒルは、確認種類数に含んでいない。

(貴重種の選定根拠)

- ① 絶滅のおそれのある野生動物の種の保存に関する法律(法律第75条、1992)に掲載されている種
- ② 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック—2 鳥類(環境省、2002年) 掲載種  
(EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR:絶滅危惧 I A類、EN:絶滅危惧 I B類、VU:絶滅危惧 II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:絶滅のおそれのある地域個体群)
- ③ 保全上重要なわかやまの自然 —和歌山県レッドデータブック—(和歌山県環境生活部環境生活総務課、平成13年3月) 掲載種  
(EX:絶滅、CR:絶滅危惧 I A類、EN:絶滅危惧 I B類、VU:絶滅危惧 II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、SI:学術的重要、LP:絶滅のおそれのある地域個体群)